

フランツ・カフカ原作「変身より」

～青年から中年への歪なるメタモルフォーゼ～

台本第一案

最終更新日 2012/4/26

【あらすじ】

ショートショートにして、初の怪談話！？

とある地方演劇人&グレーゴル・ザムザ、虫、語りの3人芝居。

どこまでが演劇なのか、境界を探る。演劇というコンセプトを揺るがすべく、右往左往する。

会談調で進行していく前半。トラブルで役が抜けてしまった演劇人。しかし舞台は続行する。虫は蠢く。そしてなぜか、物語の人物、グレーゴル・ザムザの代わりに演劇人の私生活が赤裸々に暴露され始める。止めようとする演劇人。止まらない語り手。キレル演劇人。虫は蠢く。最後は虫も交えた大乱闘。舞台は崩壊。それでも、舞台は、続く。

フランツ・カフカの名作『変身』を原作に、ある俳優が若手から中堅へ、青年から中年へと変身していった様を無様に描く。虫になってしまったグレーゴル・ザムザと、仙台という地方都市で演劇に携わりながら歳を重ね、もはや引き返すことすらできなくなった男の姿が作中で重なる様子は、虚しくもシュールな笑いを醸し出す。